



地域とつながるFFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、福岡県と熊本県における観光振興の取組みをご紹介します。

福岡県 糸島市

「食」×「運動」×「九州大学」の連携によるヘルスツーリズム

福岡県糸島市での観光庁 既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業（事業者連携型）の一環として行ったモニターツアーをご紹介します。

糸島市は九州有数の観光地であり、美しい自然環境やこだわりの食材など魅力的かつ豊富な地域資源をもとに多数の観光客を誘引してきました。一方で、観光客のほとんどが日帰り客であり、観光客の滞在時間の伸長への取組みが求められていました。

糸島の地域資源を活用したツアー

そこで、当地域の宿泊施設グローバルホテル糸島（※1）を滞在拠点とする糸島の地域資源を活用したモニターツアー（2泊3日宿泊プラン）を実施しました。

本ツアーは、心身のウェルビーイング向上を目的



①九州大学岸本准教授による最終講評 ②グローバルホテル糸島



③ ヨガ体験



④ 糸島食材を活用したヘルシーフード ⑤ 体験農園



福岡銀行 地域共創部 (左から)麻生・本石
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

としたヘルスツーリズム(※2)の実証実験として、①糸島食材を活用したヘルシーフードの提供、②瞑想及びヨガ等の各種運動アクティビティ体験、③糸島ならではの観光体験(体験農園やジビエ施設見学など)などで構成されています。ツアーの造成にあたっては、ホルモンバランスの崩れや若年層でみられるサルコペニア(※3)の予防の観点から、九州大学基幹教育院の岸本裕歩准教授にご監修いただき、ツアーの前後での心身の効果測定を行いました。

今後、モニターツアー参加者へのアンケート調査

を踏まえ、糸島市観光協会や地域の事業者等と連携しながら、コロナ禍におけるマイクロツーリズムを念頭においた魅力的な宿泊ツアー販売を目指していきます。

(※1)グロウカルホテル糸島…2021年8月にオープンした糸島初のオーセンティックホテル。九州大学伊都キャンパスのそばに立地する。運営会社はセトル株式会社。

(※2)ヘルスツーリズム…自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然や温泉、身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する観光形態。

(※3)サルコペニア…加齢や病気などが原因で筋肉量が減少し、筋力が低下した状態を指す。

福岡県 嘉麻市

アウトドアシティ嘉麻の 自然と食を体験するヒュッゲツアー

福岡県嘉麻市での観光庁 既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業（交通連携型）の一環として行ったモニターツアーをご紹介します。

嘉麻市は福岡市内や北九州市内から車で約1時間の福岡県のちようどおへそ部分に位置しており、「嘉穂アルプスなどの自然」や「嘉穂牛・赤崎牛などのブランド牛」、「極濃トマト・りんごなどの野菜果物」、そして「遠賀川水源で育まれた日本酒造り」などの魅力がたくさんあります。また、嘉麻市では、2021年11月に「アウトドアシティ宣言」を発表し、国連の世界幸福度ランキング上位のデンマークのライフスタイル「HYGGE（ヒュッゲ）」（※4）を基調とした嘉麻流アウトドアによる心地よい体験と時間を提案していく方針を打ち出しました。

日帰りバスツアーの開催

今回、アウトドアシティ宣言に基づく取組みの第一弾として、地域の交通事業者である株式会社ひまわり観光（主催）や大里酒造株式会社、一般社団法人嘉麻市観光まちづくり協会等と官民連携しながら、嘉麻市の魅力を体感できる日帰りバスツアーを開催しました。



① ひまわり観光のバス ② 大里酒造 ③ 酒蔵での体験



6



4



5

④「清喜」のシェフ ⑤嘉穂牛と赤崎牛 ⑥嘉麻の食材を使ったスペシャルランチ

日帰りで嘉麻市を満喫

本ツアーは、酒蔵見学や出来立て新酒の試飲会、福岡市にある「清喜」のシェフによるご当地食材を使ったスペシャルランチの提供、ほっこりとした時間を味わう森林体験などで構成されている日帰りコースで、初めて嘉麻を訪れる方も気軽に楽しめる内容となっています。

今後、嘉麻でしか味わえないコンテンツの磨き上げを通じ、宿泊プランの造成も見据えながらのツアー販売を目指していきます。

(※4)HYGGE(ヒュッゲ)：ほっとくつる心地よい時間、またはそんな時間を作り出すことによつて自然と生まれる幸福感や充実感、心の持ち方をあらわす言葉。



7



8

⑦ツアー主催者のひまわり観光中村社長
⑧sleepy cafe nico



9



福岡銀行 地域共創部 (左から)藤永・木原
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254



10

⑨森林体験
⑩デンマークからの国際交流員
レアケ・リンド・イェンセンさん

熊本県 水俣市 芦北町

水俣・芦北 持続的な復興支援 特産品の販路拡大に向けての取組み

最後に、熊本県での水俣・芦北豪雨被災地観光復興支援事業の一環として行った地域事業者への支援をご紹介します。

水俣・芦北地域は、熊本県の最南部に位置し、熊本市内から車で約1時間程度の距離にあります。西側は不知火海しらぬいかいに面して天草の島々を望み、海の幸・山の幸に恵まれ、また、温暖な気候を利用した柑橘類の甘夏みかん・デコポン、サラダたまねぎ、みなまた茶などの特産品があり、新鮮な海産物も多い地域です。

このような魅力ある水俣・芦北地域ですが、令和2年7月豪雨災害で大きな被害を受けました。熊本県では、落込んだ観光誘客の回復を図り、豪雨被災地の創造的な復興を支援すべく事業を立ち上げました。

今回、支援事業の一環として実施する特産品のオンライン販売についてご紹介させていただきます。

水俣・芦北地域では、水俣病という歴史的な経緯から、自然と共生し、自ら高い基準で生産された商品作りを続けてきました。そこで、オンライン販売では、「エシカル(※5)」の観点から、環境にやさしく、事業者のこだわりの詰まった選りすぐりの商品を取り揃えました。

近年、SDGs(※6)に対する意識が高まっていますが、水俣・芦北地域では自然環境に配慮した取組みが長年にわたり行われてきました。

また、本事業では、オンライン販売と連動した企画として「JR博多シティくうてん」LOCAL TABLE(ローカルテーブル)で水俣・芦北フェアの開催(開催期間:2022年3月1日(火)〜3月31日(木)までを予定)や、代々受け継がれてきた持続可能な社会への取組みをコンセプトに特産品を使った新商品の開発「水俣・芦北baton(バトン)」、販路拡大を目的としたセミナー「ビジネスマッチング等を行う予定です」。

今後も、水俣・芦北地域の復興支援として、観光誘客や販路拡大等を実施して行きたいと考えております。

(※5)エシカル:直訳すると「倫理的」という意味。エシカル消費とは、消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。

(※6)SDGs:2015年9月の国連サミットにおいて全開一致



『写真:石田真澄』

①甘夏みかん ②サップを楽しみに訪れる観光客

上記①、②は、農業を使わない柑橘類を栽培・販売する「からたち」様の取組み。

甘夏みかんの販売を行いながら、より水俣に関心を持ってもらおうと夏場に「SUP(スタンドアップパドルボード)」の体験も行う。



③ オンライン販売 (ECサイト『エンニチ』にて水俣・芦北特集企画)



詳細はこちらから
※水俣・芦北特集企画は、
2022年3月1日(火)～
27日(日) まで開催予定

で採択された国連目標です。2030年までに「誰ひとり取り残さない」社会を実現させることを目指しており、17の目標(ゴール)と、更に細分化された169のターゲットから構成されています。



④ 水俣・芦北baton (バトン) のコンセプトイメージ



⑤

⑤ J R博多シティ くうてん「LOCAL TABLE (ローカルテーブル)」

⑥ LOCAL TABLEで提供予定のシラスのアヒージョ

⑦ LOCAL TABLEで提供予定の柑橘のパフェ



⑦



⑥



熊本銀行ソリューション営業部 (左から) 大塚・上田
【お問い合わせ】TEL(096)385-1280

FFGは地域が抱える課題解決や地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取り組み事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- 産業振興
- 教育文化芸術
- まちづくり
- エネルギー
- ヘルスケア

福岡銀行 地域共創部
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254